



『教育活動に関するアンケート』について

残雪の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

12月に、R6年度の学校改善に向けた取組の参考にさせていただきため、アンケート調査をお願いしました。たくさんの皆様から励ましの声や改善を求めるご意見などをいただきました。ご協力ありがとうございました。皆様からいただいた貴重なご意見を生かし、本校の教育活動を充実発展させるために教職員一同、力を合わせて努力していきたいと考えております。今後も皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

R5保護者アンケート					
	A+B	A	B	C	D
①子どもは、行事や学習等の学校の教育活動に生き生きと取り組み、元気に登校している。	93%	71%	22%	7%	0%
少人数のよさを生かし、児童一人一人の活躍の場面を多く設定するよう教育活動を進めてきました。今後も保護者・地域の皆様とともに充実した教育活動の推進を図っていきます。					
②学校は学校だより、学年だより、ホームページ等を通して教育方針や教育活動の内容をわかりやすく伝えている。	99%	64%	35%	1%	0%
学校は経営方針や具体的な教育活動、子どもたちの様子について様々な方法を活用して発信していきます（学校だよりや懇談会、HP、メール、電話や連絡帳、個人懇談の充実等）。今後も保護者・地域の皆様との連携をより大切にしていきます。					
③学校は、基礎的・基本的な学力（読み・書き・計算等）を確実に身に付けさせるため、工夫して日々の教育活動に取り組んでいる。	100%	72%	28%	0%	0%
今年度も、学習サポート教員をはじめとした講師の方々の力も借りながら、少人数の良さを生かしながら指導を進めてきました。今後も、ICTを活用して、個に応じた課題に取り組む時間を確保するなど、基礎的・基本的な学力の定着に力をいれていきます。					
④学校は、体力向上を図る取組や安全教育、食育教育の取り組みを進めている。	97%	61%	36%	3%	0%
新体力テストの結果などから児童の実態を把握し、日常の体育の授業において体力向上に取り組んできました。また、学校園や学級園活動、栄養教諭の方を講師にお招きしての食育授業など、食育教育にも取り組むことができました。					
⑤学校は、異学年の集団活動や縦割り班（愛林班）活動など教育活動全体を通して、思いやりや命を大切に作る心、規範意識を高める指導に努めている。	97%	83%	14%	3%	0%
コロナの5類以降に伴い、様々な異学年活動が実施できました。今後も異学年活動を継続しながら、責任感や思いやりの心、互いの良さを認め合う気持ちを育てていきます。					
⑥学校は、個人懇談や電話連絡等を通して担任と話す機会を適切に設けている。	93%	67%	26%	7%	0%
学校は経営方針や具体的な教育活動、子どもたちの様子について様々な方法を活用して発信していきます（学校だよりや懇談会、HP、メール、電話や連絡帳、個人懇談の充実等）。今後も保護者・地域の皆様との連携をより大切にしていきます。					
⑦学校は、いじめ等、子どもの悩みを解消するために適切な指導に努めている。	82%	51%	31%	14%	4%
今年度途中から、ICTを活用した「生活アンケート」を月1回実施し、いじめの早期発見や児童の悩みを解消するための相談体制の構築を行っています。今後も児童に寄り添った指導を進めていきます。					
⑧学校は、家庭や地域と連携して子どもの安全・安心に取り組んでいる。	92%	64%	28%	8%	0%
学校便りや学年通信、HP、メール等により情報発信を心がけるとともに、今後も積極的に保護者や地域の方と顔を合わせて話す機会を設け、双方向のよりよい関係づくりに努めていきます。					
⑨子どもは、家庭学習(宿題・自学)の習慣が身に付いてきている。	79%	42%	38%	14%	7%
毎日の宿題や自学、水曜日と金曜日、夏冬休みのICTを用いた宿題などに取り組んできました。児童アンケートでも肯定的回答が低かった項目ですので、今後力をいれて取り組んでいきます。					
⑩子どもは、基本的な生活習慣（早寝早起き・朝ご飯・適度なテレビ・動画視聴等）が身に付いてきている	78%	33%	44%	15%	7%
「早寝・早起き・朝ご飯」でも言われている基本的な生活習慣や健康管理、家庭学習など、学校と家庭の連携はとても大切です。今後も保護者の皆様の思いを受け止めながらよりよい方策を探り、学校と家庭が協力して子どもの成長を支えていくことができるよう努めていきます。					
⑪全ての教職員が意欲的に野小の子どもたちの教育を行っている	97%	61%	36%	3%	0%
これからも「全ての教職員で全ての子どもたちを見守り、育む」を合い言葉にチームワークを大切に子ども・保護者・地域の皆様にとって安心で安全な学校づくりを進めていきます。					

R5保護者アンケート・記述欄

○夏休み・冬休みの自由研究は、材料の準備や取り組みに対して親子共に大変に感じるので、任意にしていただけたら助かります。

現在、冬休みの自由研究は任意にしています。夏休みの自由研究については、江別市内創意工夫展に出品するため、市内全ての学校で取り組んでいます。

○土曜授業があったら、次の月曜は必ず振替休日にした方が良い。10月に土曜授業の次の月曜は普通に学校があったが、結局その週の途中から学校閉鎖になった。疲れが溜まると体調を崩しやすいと思う。

土曜授業については、教育委員会より、江別市内全ての小中学校で年間1回以上実施するよう求められています。（土曜授業ですので、月曜日を振替休日にすることはできません。）。ご理解下さい。

○今年の春に保護者を募ってグラウンドの整備などを行う際に、"男性職員とお父さんは、" "女性職員とお母さんは、"というような表現で業務分担を行っていたことがありました。教頭先生発信のお知らせ文書だったかと思います。このような合理性を欠くジェンダー意識をお持ちだということに少し危機感を覚えた次第です。これはPTA活動の場面でしたが、普段の児童らの学習や校内活動の機会においても同様なお考えのもとご指導されているのではないかと心配になりました。ぜひに合理性を欠く男女差別は行わないようお願いしたいです。

この点につきましては、教頭としてお詫び申し上げます。ご不快な思いをさせて、大変申し訳ありません。今後気をつけてまいります。

○子どもが、励みになるので家庭学習の表彰がまた復活してくれたらいいなと言っていました。

保護者アンケート、児童アンケートでも、家庭学習についての項目に課題がみられました。同じような取り組みになるかどうかはわかりませんが、今後学校としても、この点に力を入れて取り組んでいきます。

○何か困った時は解決策など対処法などハッキリ言って助かっていますが、担任が雑談してくれるようなタイプじゃないので、学校での出来事が解らなくなりました。

野幌小では、「全ての教職員で全ての子どもたちを見守り、育む」を合い言葉に、担任だけでなく、教職員全員で全児童の指導に当たっています。学校での様子をお聞きになりたいときは、来校された際など、養護教諭や教頭などにもお声をかけてください。

○学年便りは画像が粗いし白っぽくて、せっかくカラーで写真を貼っていますが、何が写っているのが見にくいです。

学校で使用しているプリンターを入れ替えるのは難しいので、今後写真のサイズを大きくするなど工夫してまいります。

○学芸会の劇での、主役メンバーとその他の役の差がありすぎたと思う。名前すら呼ばれないのは悲しい。

学芸会の演目や内容については、各ブロックの担任団が、それぞれの児童が学芸会を通してより成長できるよう決めていますので、ご理解いただければと思います。

○上の子が入学した時はまだ複式のクラスがあったりと今より人数も少なく、またコロナウイルスも流行る前だったので、色々な行事を通してたくさん経験させて頂きました。それから数年。コロナウイルスが流行ったことや人数も増えたことで、だいぶ行事の内容も変わりました。以前の行事を経験している先生が少なくなり、今後野小のいいところが継承されていけるのか、少し不安も感じます。今年は会長が頑張ってくれて、環境が変わった中でも積極的に『継承』という目線を持って取り組んでくださりました。その姿勢がとても嬉しく感じ、以前の野小の面影をチラリと見えたのが非常に良かったです。できないことも多くなったとは思いますが、ぜひ前向きに、積極的に、楽しむことにチャレンジして頂きたいです。

学校活動に関しては、文部科学省から年間の授業時数を1086時間以内にするよう求められています。野幌小学校のR5年度の年間の授業時数は、2年生以上全ての学年で1086時間を大幅に超えています。（野幌小学校は6時間授業の日が他の学校より多く設定しているためです。）各教科の授業の時数は学習指導要領で決まっていますので変更できません。そのため、R6年度以降は「学校行事」に関する時数を削減することになります。そのような理由により、「学校行事」の内容についても、今後指導できる時数に応じて変更していくことになります。（詳しくは後日お知らせいたします）。PTA活動については、今年度荻野会長をはじめとした役員の方々を中心に、コロナ後の新しい形を作っていただきました。次年度以降も、この形を基に取り組んでいただけたらと思います。

○入学を希望する家庭が野幌小に求めるものも野小の活動も、数年前とは変わってきていると思います。様々な事情があつてのことと承知していますが、特認校である意味を再確認する時期に来ているのではと感じます。

児童数の増加や、教員の働き方改革が進む中、今までと同じようにできなくなってきたことも事実です。ご指摘の点につきましては、今後教育委員会とも検討してまいりたいと思います。